

研究主題

**自分を見つめ、他者と関わり合い、
より深くより広く、考える児童の育成
～道徳科の授業づくりを通して～**

研究仮説

発問を絞り込み、他者との関わり合いの場面を設定し、「読む道徳」から「考え議論する道徳」にすれば、一人一人がじっくりと考え、他者の考えを受け止めて、自分の考えを深化させたり、広げたりする児童を育成することができるであろう。

身に付けさせたい6つの資質・能力

- ① 知識・理解 ② 思考力 ③ 判断力
- ④ 表現力 ⑤ 主体性 ⑥ 協働性

◇議論する道徳科授業

- ★★指導者の振り返り
授業後の板書の活用
- ★★ねらいに迫る
効果的な問い合わせ
- ★発問の絞り込み
道徳授業評価票の活用
- ★他者との関わり合い
の場面設定
- ★綿密な教材研究
教材分析シート作成
- ◇「読む道徳」
からの脱却

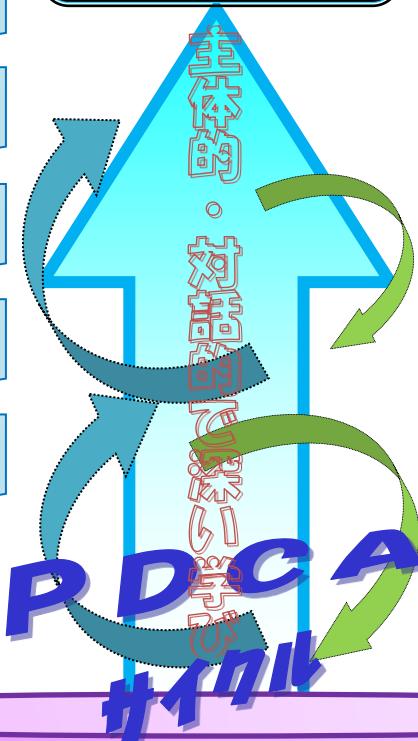
何を学ぶか

◇各教科の目標

どのように学ぶか

◇教科の見方・考え方
◇単元の工夫◇見守り型複式授業
(算数学科を核に)

- ★ふりかえり
- ★適用・活用
- ★まとめ
- ★協働解決
- ★自力解決
- ★めあて ★見通し
- ★課題把握



○生活科 総合的な学習の時間 ○学習経験 ○人権感覚

○ことばの力 ○実践的コミュニケーション ○生活経験